

- ▶ 君津市では、令和元年の房総半島台風の倒木被害等から、山間部で長時間の停電・断水等の被害が引き起こされました。風倒木被害を未然に防止するため、本税をインフラ施設周辺の森林整備の推進に活用しています。
- ▶ 令和6年度までの実績。
  - 水道施設周辺の電線がある市道沿いの伐採 2.44haを実施しました。
  - インフラ施設周辺の森林整備 3.04haに補助事業を活用しました。

## □ 事業内容

### 1 インフラ施設周辺の森林整備

- 電線等のインフラ施設の周辺20～30mの森林整備を実施しています。  
また、数年後に同様の状況になることを防ぐため、伐採跡地には中低木を植栽します。

【事業費】 R3: 20,041千円(全額譲与税) R4: 21,247千円(全額譲与税)  
R5: 9,814千円(譲与税: 8,814千円) R6: 4,949千円(譲与税: 3,760千円)  
累計[R2～R6]: 67,512千円(譲与税: 65,324千円)

【実績】 整備延長 L=1,189m  
高木及び竹伐採 A=2.44ha

### 2 災害に強い森づくり

- 風倒木被害の多いインフラ施設周辺について、国県補助を活用し森林整備を行っています。

【事業費】 R3: 262千円(譲与税: 157千円) R4: 96千円(譲与税: 38千円)  
R5: 6,745千円(譲与税: 4,047千円) R6: 30,185千円(譲与税: 9,645千円)  
累計[R2～R6]: 38,361千円(譲与税: 14,328千円)

【実績】 特殊地拵え 3.04ha

## □ 事業スキーム

### 1 インフラ施設周辺の森林整備



### 2 災害に強い森づくり



## □ 工夫・留意した点

森林整備の実施に当たり、地権者や電力会社と協定を結び着手しました。  
また、伐採後は、中低木を植栽し電線への被害を防止します。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	40,115千円
②私有林人工林面積(※1)	5,334ha
③林野率(※1)	64.5%
④人口(※2)	82,206人
⑤林業就業者数(※3)	39人

※1：「2020農林業センサス」より、

※2、3：「R2年国勢調査」より

令和6年度 糸川地先



(実施前)



(実施後)

令和3～6年度 白駒地先



(実施前)



(実施後)